

平成 21 年 12 月 1 日  
平成 22 年 2 月 18 日改定  
RESTEC 利用推進部

## ALOS 関連新製品の提供開始について

来る 10 月 24 日、ALOS はその製品提供開始から 3 周年を迎えます。それを機に、以下の新製品の提供を開始いたします。これらの製品は、これまで多くの利用者の方々より提供ご要望を戴いていたものですので、皆様のお役に立てるものと考えております。

### 1. 製品概要

#### (ア) 製品名

- ① PRISM レベル 1B2 製品相当+RPC ファイル (通称 PRISM L1B2+RPC)
- ② AVNIR-2 レベル 1B2 製品相当+RPC ファイル (通称 AVNIR-2 L1B2+RPC)

#### (イ) 対象センサ

ALOS 搭載光学センサ (PRISM 及び AVNIR-2)

#### (ウ) 提供フォーマット

GeoTiff (画像ファイル)、RPC (RESTEC オリジナル(\*1))

#### (エ) 処理レベル

ALOS 光学センサのレベル 1B2 相当(\*2)

#### (オ) 処理オプション

地図図法、リサンプリング法及び地図上の画像カラム方向 (Geo-Reference、Geo-Coded (MapNorth, TrueNorth)) 等、ALOS 光学センサにおける L1B2 標準処理製品と同じオプションを選択いただけます。

#### (カ) 価格

30,000 円 (税込み 31,500 円、アジア地域)

#### (キ) その他

その他座標系等基本仕様は、ALOS 標準処理製品と同じです。

### 2. 製品の特徴

#### (ア) モデリング精度の向上

「PRISM L1B1+RPC」製品の場合、使用 RPC の選択や観測シーンによっては CCD アライメント及び衛星姿勢データ変動に係る RPC 近似誤差が生じる場合がありますが、「PRISM L1B2+RPC」製品ではシステムマチックな誤差は大幅に軽減し、センサモデル (システムモデル) に非常に近い状態 (ALOS センサの本来の性能) を再現することが出来るようになります。

#### (イ) フォーマットの一般化

イメージ（画像）ファイルのフォーマットは、「PRISM L1B1+RPC」製品では CEOS 若しくは NITF としておりましたが、より一般化することを目的として GeoTiff フォーマットを採用いたしました。

このような「GeoTiff フォーマット画像+RPC ファイル」という組み合わせは、航空機測量等分野において一般的に用いられていますので、本製品についても、汎用の RPC が読み込めるソフトウェアにおいて取り扱いが可能です。

参考までに、リモートセンシング関連の以下のソフトウェアにおいては、動作の確認が報告されています。

- ・ ERDAS IMAGINE
- ・ ENVI
- ・ PCI Geomatica
- ・ 図化名人

#### (ウ) AVNIR-2 データへの対応

今般の「PRISM L1B2+RPC」製品提供開始にあわせ、AVNIR-2 版の RPC 製品をご提供できるようになりました。

幾何学的な絶対精度は AVNIR-2 センサ本来の精度を超えるものではありませんが、オルソ処理等における、利用者様の作業の軽減に寄与できるものと考えています。

### 3. その他（リンク）

(ア) サンプルプロダクト

(イ) データ仕様書

(ウ) 精度検証レポート

(\*1) : RPC ファイルのフォーマットは、これまで通り RESTEC オリジナルとなっておりますが、この形式については一般化されている NITF フォーマットにおける記述形式を抜粋（切り出し）したものです。

(\*2) : L1B2 相当製品とは、JAXA の作成した L1B1 製品及びセンサモデルを基に、RESTEC において地図投影処理（L1B2 処理）を実施したことを意味します。これは、RPC 製品を生成するためには「軌道・姿勢データの含まれる JAXA の L1B1 製品」を入力データとする必要があります、その後、当該データを別途地図投影（L1B2 処理）しているためです。なお、「相当」ではありますが、その幾何学的精度は JAXA の作成する L1B2 製品と同等であることを RESTEC において検証済みです。